



私の視点「なぜここを質問したか」

民生委員・児童委員の役割などが町民に十分認知されていない。担い手不足などの課題から、町の支援がさらに必要と考える。

民生委員・児童委員の活動と支援体制は

たかはし のぶあき
高橋 紳章 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁 (町長) 活動しやすい環境を整える

問 民生委員・児童委員を町民に幅広く知ってもらうための策は。

答 福祉課長
認知度向上のため、「民生委員」と明記された蛍光ジャンパーを着用し、登下校の見守り、自治会や町内行事などにも参加

問 活動に対する町との情報共有・連携は。

答 福祉課長
町や社会福祉協議会も出席する定例会で、事例報告や事業の周知など情報共有を行っている。また、町民からの相談内容により、福祉課から相談先の紹介など必要に応じて関係課や関係機関と連携し、対応している。

問 民生委員・児童委員の活動状況は。

答 福祉課長
町民のさまざまな福祉的相談に応じ、行政や関係機関へつなぐ役割を担うほか、高齢者や児童・生徒の見守り、居場所づくりを目的とした地域福祉活動に取り組んでいる。

問 町長が考える民生委員・児童委員制度の意義と、今後のさらなる支援の在り方は。

答 町長
高齢化や単身化など複合的な困難課題が増加する中で、支援を必要としている人が孤立することがないように、民生委員・児童委員は「つなぎ役」として

問 活動に対する町の支援状況は。

答 福祉課長
定例会では、福岡県、粕屋警察署、介護事業所などから講師を招き研修会を実施。また、年1回町外の民生委員・児童委員との情報交換も行っている。

されている。
12月には一斉改選が行われるため、広報うみ、ホームページで改めて活動内容などの掲載を行う。
また、委嘱された際に貸与している門標プレートについては、再度、分かりやすい場所への設置を提案していく。



質問を終えて
今後も、民生委員・児童委員の方が引き受けて良かったと思われる支援体制になることを切に願う。

民生委員・児童委員のユニフォーム

宇美町の民生委員・児童委員数			
定数	43人	欠員数	4人
現在の数	39人		



大切かつ必要な存在である。活動しやすい環境を整えることが行政の仕事であると考えている。訪問活動に専念できるように、資料作成の支援、研修や事例検討による情報共有を今後も継続し、行政としてしっかり支援していく。



私の視点「なぜここを質問したか」

平成15年7月の猛烈な豪雨で一本松公園は大きな被害を受け、随分変わり果てた。以前のにぎわう公園を取り戻し、こどもから大人まで楽しむ姿を見たい。

一本松公園の維持管理と整備方針は

しろうず えいじ
白水 英至 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁 (町長) 持続可能な公園にしていく必要がある

整備状況	
平成31年度	トイレの改修、スケートボード場の整備
令和2年度	猫石側トイレの移設改修
令和3年度	公園入口付近に駐車場料金ゲート設置

問 一本松公園の位置付けは。

答 都市整備課長
一本松公園は、本町の豊かな自然環境を象徴する重要な都市公園であり、憩いの場として位置付けられた観光資源である。

問 これまでの公園の整備状況は。

答 都市整備課長
平成29年度に「一本松公園基盤整備懇談会」を設置し、有識者や町民代表からの意見をもとに調査を行った。調査結果をもとに、次表のとおり整備を行った。



使用休止中のバンガロー

問 バンガローを改修し、冬登山者も利用可能な通年制にしては。

答 都市整備課長
バンガローを通年利用するには、旅館業法に基づく簡易宿所営業の許可を取得する必要があるため、現時点で通年利用に向けた整備は考えていない。

問 グランピング施設の誘致やアスレチックなどの整備は。

答 都市整備課長
施設などの誘致は、今後の官民連携で民間事業者の構想や計画と差異が生じる可能性があるため、慎重な精査が必要である。今年度中に「みどりの基本計画」を策定。この計画に基づき来年度に「一本松公園基本計画」



質問を終えて
「こどもたちが三郡山系の豊かな自然の中で学び、大人も癒される場である」という町長の答弁に尽きる。

問 町長が描く一本松公園の未来像は。

答 町長
地域資源と連携しながら、持続可能な公園にしていく必要がある。来年度策定予定の基本計画の中で、公園の将来像や整備方針をしっかりと示したい。

問 一本松公園でバーベキューなどをされているが、山火事などの発生を懸念する。一本松公園の監視体制は。

答 環境課長
巡視清掃業務を委託し、2名体制で日常的な見回りと環境整備を行っている。

を策定し、交付金を活用しながら、整備を進める。